

竜雲舜虹苑は地域の皆様の心と心をつなぐ虹の懸け橋でありたいと願っています。

「秋に思う」

お彼岸が過ぎて、あの「もの悲しい」秋が近づいてきた。私はなぜか昔から、この季節が好きである。なにか終焉を予感させ、そして「あわれ」を思わせる秋の調べは、日本人の無常観とともに、この国の情緒を深め、また日本人の心を二層浄めてきた様にも思う。そこで、名句を一つご紹介したい。

「桐一葉、落ちて 天下の秋を知る」

明治期のある禅僧の句だと聞いている。桐の葉は大きい。それが秋の日の、ある日、ある時、ある瞬間に、音もなく「ハラリ」と落ちる。

桐の葉の一枚に、大自然の風景を一瞬にして捉えた世界である。そこには見渡すかぎり、「満面の秋」が広がっている。さらに云えば日本国中が秋一色に染まってしまったような感さえある。

ところで話しは変わるが、琴平と高松を結ぶ国道32号線の中間ぐらいの道路に、西洋カエデの街路樹が左右に植わっている。そのカエデの樹木が秋に近づくと、少しずつ色づいてくる。その色の変化の趣きが何とも美しい。その微妙な変容がすばらしい。だからその時期になると、その道を車で通過することを毎年楽しみにしている。

このカエデは、日本の野山の紅葉とはまた違った趣きで、やはり外国風といった色合いをしている。

毎年、この並木道を通る度に「また、秋が来た」と思う。私も「七十代」をとうに超えてしまったが、ここ数年来、このカエデを見る度に「ああー」の美しい紅葉を私は、あと何回見ることが出来るだろう?とついつい思ってしまう。何か名残惜しい気がして深く心にきざみ込む思いで見えてしまうのだ。

つくづく考えると、つまり、そういう年齢になったということであろう。ついに、そろそろ私も人生の「秋」にさしかかっているのだろう。

# 竜雲舜虹苑 給食（富士産業）

## 給食職員紹介



藤倉 史朗



入星 茂



田淵 愛子



給食責任者  
美馬 慎一郎



管理栄養士  
原田 歩美子



ソフト食



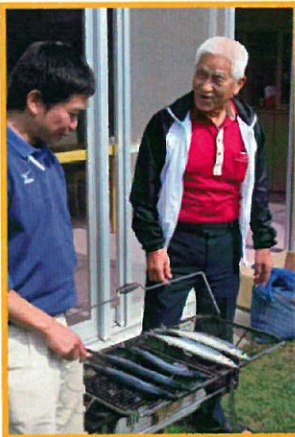
普通食

本日のメニュー  
 麦ご飯  
 なめこの味噌汁  
 鯖の照り焼き  
 ほうれん草のお浸し  
 フルーツ

### 管理栄養士から一言

竜雲舜虹苑では、毎日250食以上の食事を提供しています。その中には、好き嫌いやアレルギー、食事制限があるなど、様々な方がおり、それに対応した食事を作っています。また、高齢になると食事量の低下や、固いものが食べれなくなってしまうことも。特に肉が固い・・・と言われ、残される方も多い為、肉に豆腐や卵を混ぜてペースト状にした後、蒸して形を整え、やわらかくするなど、工夫を凝らしています。また不足しがちな食物繊維を摂ってもらう為に、卵焼きに切干大根を刻んで入れたり、週に数回は米に麦を入れたり、夕食には水分補給もかねて、寒天や季節の飲み物を提供しています。機能が落ちてても、長く口から食べてもらいたい。人それぞれ好みはありますが、皆様から頂く感想や意見を大切に、喜んで頂けるような食事を作っていききたいと思います。目指せ残食ゼロ！

### イベント食 秋・冬メニュー



### 社会福祉法人竜雲学園 竜雲舜虹苑

特別養護老人ホーム  
 短期入所サービス  
 通所介護サービス  
 認知症型通所サービス  
 訪問介護サービス  
 老人介護支援センター  
 ケアハウス

〒761-8078  
 高松市仏生山町甲 3100 番地 2  
 TEL: 087-888-5800  
 FAX: 087-889-1004

